

平成 26 年度ひょうごスマートムーブ実践推進による二酸化炭素排出削減事業（環境省補助）  
超小型モビリティ型ノーマイカー活動意見交換会結果報告書

1. 開催目的

地域の公共交通機関が充分ではない地域において、化石燃料から電気への転換を推進する「超小型モビリティ型ノーマイカー活動」について、活動の参加者、市民団体、行政などと意見交換を行う事により情報の共有化を図り、今後のライフスタイルの変革と CO2 削減による低炭素社会実現に向けた市民活動の契機として実施した。

2. 開催日時・場所

平成 26 年 12 月 12 日（金）17:時 30 分～19 時 30 分

加東市社公民館 視聴覚室 加東市木梨 1134 番地 60 電話番号 0795-42-2600

3. 内容

話題提供 「中山間地域における高齢者の移動手段確保」

樋口 恵一 氏（公益財団法人豊田都市交通研究所 研究員）

- ・中山間地域における高齢者の移動に関する課題について、豊田市などをモデルに事例紹介を行った。

「超小型モビリティ・コムス試乗の CO2 削減効果について」

加藤 秀樹 氏（本事業外部有識者、公益財団法人豊田都市交通研究所首席研究員）

- ・今回の活動による CO2 削減効果、エネルギー費用の削減効果について報告があった。

CO2 削減量 ガソリン車に対して約 70%の削減

エネルギー費用の削減効果 ガソリン車に対して約 80%削減

「もし、生活課・高齢介護課の公用車が全てコムスになったら？」（略、もしコム）

杉本 亜弥子 氏（加東市市民安全全部生活課 副課長）

- ・市役所での公用車との比較で CO2 削減量、エネルギー費用の削減効果の報告や利用例についての提案が報告された。

活動者意見交換会（80 分）

車座になり、参加者からの試乗による感想や意見、加東市の生活の中でどのようなシーンでコムスが有効に利用できるか？利用するための環境整備にはどのような事が必要かを討議した。\*参照「議事録」

□参加者意見発言（一人 1～2 分程度）

□テーマ別議論

（「もしコム」の課題解決方法、個人の視点でコムスを使うメリット・課題、誰にコムス導入をオススメできるか、社会としてどんな整備が必要か、車両改善への期待など）

コーディネーター 加藤 秀樹 氏

講評 樋口 恵一 氏

西堀 泰英氏（中央復建コンサルタンツ株式会社、事業評価作業員）

終了挨拶 近松 照芳 氏（加東エコ隊 隊長）

4. 参加者数 15 名（加東エコ隊、加東市職員、兵庫教育大学他）

【意見交換会の状況】

